令和8年度　多職種事例検討会

その人らしい
暮らしを
これからも

「暮らし」を見る力を磨く

転倒による脊髄損傷リスクを抱えながら
住み慣れたお寺での暮らしを支える

なじみの場所、
なじみの人と、
これからも――



暮らし
住み慣れた場所で
その人らしく

安全
転倒リスクを減らし
安心して暮らす

できることを支える
本人の「したい」を
大切に

福祉用具専門相談員・介護支援専門員・作業療法士が、それぞれの専門性を持ち寄り、
「できることを支える視点」「安全とその人らしい暮らしの両立」について多職種で考えます。

事例概要

- 70代後半女性
- 夫と二人暮らし
- 地域に根差したお寺で生活
- 医師より転倒回避の必要性を指摘
- 転倒時は脊髄損傷のリスク
- 玄関や土間に段差が多い
- 掃除や洗濯などの家事を継続
- 「できることは自分でしたい」
- 「住み慣れたお寺で暮らし続けたい」

開催概要

日時	2026年12月17日（木） 18:00～19:30
開催方法	オンライン（Zoom予定）
参加費	無料
申込締切	2026年11月30日（月）
対象	● 全国福祉用具専門相談員協会 京都ブロック 会員 ● 京都府介護支援専門員会 会員 ● 京都府作業療法士会 会員

こんな方におすすめ

- 本人の「したい」を支える支援をしたい
- 転倒リスクの高い利用者への支援を考えたい
- 多職種の視点から新たな気づきを得たい
- 福祉用具・リハビリ・ケアマネジメントの連携を深めたい

申込はこちら

全国福祉用具専門相談員協会
京都ブロック

京都府介護支援専門員会

京都府作業療法士会

暮らしの先にある
笑顔のために

ともに考え、
ともに支える。
その人の暮らしのために。

主催　全国福祉用具専門相談員協会 京都ブロック ｜ 京都府介護支援専門員会 ｜ 京都府作業療法士会